

2024年12月5日

各 位

東びわこ農業協同組合



SDG s 債券への投資に関するお知らせ

東びわこ農業協同組合（代表理事理事長 柳本 上司、以下「当組合」）は、持続可能な社会の実現につながることを期待して、「第 38 回 K D D I 社債(サステナビリティボンド)」(以下「本債券」)に投資したことをお知らせいたします。

サステナビリティボンド（英語：Sustainability Bond）とは、地球温暖化などの環境的課題および貧困などの社会的課題の両方に取り組むプロジェクトに必要な資金を調達するために発行される債券のことであり、サステナブルファイナンスの一種です。

当組合は、幅広い事業分野において環境に配慮した取り組みを実施しており、本債権のサステナビリティ・リンク・ボンドはじめ SDG s 債券への投資を通じ、収益性の確保のみならず、環境施策への貢献も果たしてまいります。

記

【本債券の概要】

銘柄	第 38 回 K D D I 社債（サステナビリティボンド）
発行日	2024 年 12 月 5 日
発行年限	7 年
発行額	1300 億円

※KDDI は 2024 年 11 月 29 日、サステナビリティボンド「KDDI つなぐチカラ債」を含む無担保普通社債（以下 本社債）の発行を決定しました。本社債の発行総額は 2,100 億円であり、このうちサステナビリティボンド「KDDI つなぐチカラ債」の発行額は 1,300 億円です。なお、サステナビリティボンドの発行は、2022 年 10 月の「KDDI つなぐチカラ債」（発行総額 1,000 億円）に続く 2 回目となります。

「KDDI つなぐチカラ債」は、5G 関連投資を中心に、社会課題の解決や地球環境の保全につながる事業を資金使途としています。具体的には、5G エリアを構築することで、政府が提唱する「デジタル田園都市国家構想」の実現に貢献します。また、携帯電話基地局や通信設備などの省電力化と再生可能エネルギーの利用を推進し、2030 年度までに KDDI グループのカーボンニュートラル達成を目指す取り組み推進など、さまざまな適格プロジェクトに充当します。

サステナビリティボンド・フレームワークの詳細は、K D D I 株式会社のホームページ掲載されている開示資料をご覧ください。

(https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-345_3613.html)

※持続可能な開発目標（SDG s）とは、2015 年 9 月の国債国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲットのこと

以 上